



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社イチネンホールディングス

コード番号 9619 URL <https://www.ichinenhd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 総合企画部長 (氏名) 井本 久子 TEL 06-6309-7890

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家・アナリスト向け決算説明会、並びにWEB会議の開催を予定）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第2四半期 | 63,525 | 2.8 | 4,231 | △13.9 | 4,540 | △11.6 | 3,123 | △3.2 |
| 2023年3月期第2四半期 | 61,772 | 4.6 | 4,916 | 4.1 | 5,138 | 7.2 | 3,226 | 5.3 |

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 3,501百万円 (10.3%) 2023年3月期第2四半期 3,173百万円 (6.5%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第2四半期 | 129.88 | 129.51 |
| 2023年3月期第2四半期 | 134.54 | 134.41 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年3月期第2四半期 | 179,396 | 51,300 | 28.6 | 2,130.23 |
| 2023年3月期 | 171,888 | 48,375 | 28.1 | 2,009.64 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 51,237百万円 2023年3月期 48,337百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | — | 25.00 | — | 25.00 | 50.00 |
| 2024年3月期 | — | 30.00 | — | — | — |
| 2024年3月期（予想） | — | — | — | 25.00 | 55.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 131,000 | 2.5 | 8,200 | △7.5 | 8,200 | △9.9 | 5,480 | △7.5 | 227.83 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2024年3月期2Q | 24,262,227株 | 2023年3月期 | 24,262,227株 |
| 2024年3月期2Q | 209,476株 | 2023年3月期 | 209,456株 |
| 2024年3月期2Q | 24,052,761株 | 2023年3月期2Q | 23,982,851株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調で推移いたしました。世界的な金融引締めや中国経済の先行き懸念等に伴う海外景気の悪化、物価上昇等の下振れリスク、金融資本市場の変動など依然として先行き不透明な状態が続いております。

このような状況の下、当社グループは「いちねんで、いちばんの毎日を。」をスローガンに掲げ、最高の品質とサービスでより多くのお客様に満足をご提供し、適正な利潤の確保によりステークホルダーに報い、社会に貢献できる企業を目指しております。

基盤事業である自動車リース関連事業を中心に、ケミカル事業、パーキング事業、機械工具販売事業、合成樹脂事業を展開しており、これら既存事業の強化を進めながら、事業領域の枠にとらわれない新規事業への参入、規模拡大を目的とした積極的なM&A、海外展開にも挑戦しております。

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は635億25百万円(対前年同期比2.8%増)、営業利益は42億31百万円(対前年同期比13.9%減)、経常利益は45億40百万円(対前年同期比11.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億23百万円(対前年同期比3.2%減)となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。なお、下記のセグメント別売上高は、内部売上高消去前の金額であります。

<自動車リース関連事業>

リースにおきましては、リース契約車両は依然として小型化傾向にありますが、国内のリース車保有台数は堅調な伸びを維持しており、市場は緩やかながら拡大傾向にあります。当社グループは、地域密着のきめ細やかなサービスで競合他社との差別化を図りながら、比較的競合の少ない地方市場及び中小口規模の企業をメインターゲットとして新規販売を積極的に行うとともに、既存顧客との更なる取引深耕に努めました。

これらの結果、2023年9月末現在リース契約台数は94,507台(対前期末比1,317台増)となり、リース契約高は248億円(対前年同期比25.1%増)、リース未経過契約残高は914億3百万円(対前期末比6.7%増)となりました。

自動車メンテナンス受託におきましては、当社グループ独自の自動車整備工場ネットワークによる高品質なメンテナンスサービスを強みとしながら、更なる契約台数、契約残高の増加に努めた結果、メンテナンス受託契約台数は84,306台(対前期末比2,368台増)となり、メンテナンス受託契約高は35億38百万円(対前年同期比9.5%増)、メンテナンス未経過契約残高は87億50百万円(対前期末比3.7%増)となりました。

燃料販売におきましては、主に自動車用燃料給油カードにおいて、低燃費車の普及により需要が減少傾向にありますが、既存顧客へのサービス向上並びに新規顧客の獲得に注力いたしました。

販売面では、リースは契約台数が順調に推移いたしました。

損益面では、主力である自動車リースの販売が増加いたしました。一方で、前期に車両販売の販売単価が上昇し、利益が増加したことの反動により、利益が減少いたしました。

この結果、売上高は295億81百万円(対前年同期比0.6%減)、セグメント利益は29億71百万円(対前年同期比23.0%減)となりました。

<ケミカル事業>

ケミカル事業におきましては、住みよい地球環境と人々の暮らしの向上に貢献するべく、商品開発力の強化及び品質向上に取り組むとともに、付加価値の高い商品の販売に注力いたしました。

販売面では、化学品関連の自動車整備工場向けケミカル製品及び機械工具商向けケミカル製品の販売並びに工業薬品関連の燃料添加剤の販売は順調に推移いたしました。一方、工業薬品関連の石炭添加剤の販売並びに船舶用燃料添加剤の販売は減少いたしました。

損益面では、営業活動の増加等に伴い販売費及び一般管理費が増加した影響により利益が減少いたしました。

この結果、売上高は57億47百万円(対前年同期比0.5%増)、セグメント利益は4億87百万円(対前年同期比4.4%減)となりました。

<パーキング事業>

パーキング事業におきましては、安全・安心・清潔で利用しやすい駐車場をお客様にご提供するべく、「One Park」のブランド名でコインパーキングや来客用駐車場を全国に展開しているほか、病院や官公庁及び商業施設に附帯する駐車場の運営管理も行っております。中長期的に安定した収益基盤を築くため、更なる駐車場数の拡大に努めた結果、2023年9月末現在駐車場管理件数は1,892件(対前期末比59件増)、管理台数は37,093台(対前

期末比233台減)となりました。

販売面では、新規駐車場の開発が順調に進み、また、既存駐車場の継続的な収益改善活動の効果もあり、販売が増加いたしました。

損益面では、販売増加の影響により利益が増加いたしました。

この結果、売上高は36億79百万円(対前年同期比9.0%増)、セグメント利益は5億70百万円(対前年同期比23.5%増)となりました。

<機械工具販売事業>

機械工具販売事業におきましては、プロ向けや個人向けの各種工具類、自動車部品、産業・建設機械部品など幅広い商材を取り扱っており、自社でインターネット通販も展開しております。更なる事業規模の拡大並びに収益性の向上を実現させるため、取扱アイテムの拡充、自社オリジナル製品の開発・販売の強化、商品調達コスト及び物流コストの低減に努めました。

販売面では、建設機械部品並びに空調工具及び計測工具の販売は順調に推移いたしました。一方、産業機械部品等の販売は減少いたしました。

損益面では、上記要因における販売減少の影響により利益が減少いたしました。

この結果、売上高は177億76百万円(対前年同期比0.6%減)、セグメント利益は3億14百万円(対前年同期比10.2%減)となりました。

<合成樹脂事業>

合成樹脂事業におきましては、遊技機部品の製造・販売を行う主力の遊技機部品事業を中心に、新規案件の受注拡大及び新商品の開発を図り、同時に品質改善にも努めてまいりました。

販売面では、遊技機メーカーへの合成樹脂製品の販売、科学計測器の販売並びに半導体実装装置メーカー等へのセラミックヒーターの販売が順調に推移いたしました。

損益面では、上記要因における販売増加の影響により前年同期比では損失幅が縮小いたしました。

この結果、売上高は60億86百万円(対前年同期比32.9%増)、セグメント損失は1億38百万円(前年同期は2億35百万円のセグメント損失)となりました。

<その他>

その他事業のガラス加工事業におきましては、新規顧客の拡大や新たな市場開拓を図るとともに、品質向上に取り組んでまいりました。また、農業におきましては、経営を軌道に乗せるべく継続して栽培ノウハウの蓄積を進めるとともに、新しい販路の開拓及び6次産業化に向けた検討・研究等、収益化に向けた取り組みを行ってまいりました。

販売面では、ガラス加工事業において、ガラス製品の販売は順調に推移いたしました。また、農業において、既存農場における農作物の販売数量が増加したことに加え、前期に新たに開設した「南国農場」が販売増加に寄与いたしました。

損益面では、農業において、販売は増加いたしましたが、前期に新たに開設した「南国農場」で生産している農作物の流通市場での単価が想定より低く推移したこと等の影響により利益が減少いたしました。一方で、ガラス加工事業において、販売増加の影響により利益が増加いたしました。

この結果、売上高は11億54百万円(対前年同期比21.5%増)、セグメント利益は14百万円(前年同期は37百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

<資産の状況>

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は840億25百万円となり、前連結会計年度末残高765億67百万円と比べて74億58百万円増加いたしました。これは「現金及び預金」の増加52億59百万円、「受取手形及び売掛金」の減少7億39百万円、債権流動化による「電子記録債権」の減少32億91百万円、ファイナンス・リース取引の契約増加による「リース投資資産」の増加40億22百万円、「原材料及び貯蔵品」の増加7億23百万円、自動車税等の納付による「前払費用」の増加9億64百万円が主な要因であります。

固定資産の残高は953億38百万円となり、前連結会計年度末残高952億79百万円と比べて59百万円増加いたしました。これは減価償却費がオペレーティング・リース取引の契約増加を上回ったことによる「賃貸資産」の減少5億74百万円、時価評価等による「投資有価証券」の増加7億10百万円が主な要因であります。

繰延資産の残高は32百万円となり、前連結会計年度末残高42百万円と比べて9百万円減少いたしました。

以上の結果、資産合計は当第2四半期連結会計期間末残高1,793億96百万円となり、前連結会計年度末残高1,718億88百万円と比べて75億7百万円増加いたしました。

<負債の状況>

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は669億37百万円となり、前連結会計年度末残高573億47百万円と比べて95億89百万円増加いたしました。これは「支払手形及び買掛金」の減少12億56百万円、「短期借入金」の増加71億円、「コマーシャル・ペーパー」の減少15億円、「1年内償還予定の社債」の増加50億円が主な要因であります。

固定負債の残高は611億58百万円となり、前連結会計年度末残高661億65百万円と比べて50億7百万円減少いたしました。これは「社債」の減少51億30百万円が主な要因であります。

以上の結果、負債合計は当第2四半期連結会計期間末残高1,280億95百万円となり、前連結会計年度末残高1,235億13百万円と比べて45億82百万円増加いたしました。

<純資産の状況>

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は513億円となり、前連結会計年度末残高483億75百万円と比べて29億25百万円増加いたしました。これは「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上による「利益剰余金」の増加31億23百万円、配当金の支払による「利益剰余金」の減少6億1百万円、時価評価による「その他有価証券評価差額金」の増加3億66百万円が主な要因であります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末より53億59百万円増加し、153億44百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、10億67百万円（前年同期は△4億63百万円）となりました。これは主に、「税金等調整前四半期純利益」が44億36百万円になったこと、「減価償却費」が87億15百万円になったこと、受取手形及び電子記録債権の流動化等により「売上債権の増減額（△は増加）」が40億34百万円となったこと、「棚卸資産の増減額（△は増加）」が△9億72百万円になったこと、「リース投資資産の純増減額（△は増加）」が△43億78百万円になったこと、オペレーティング・リース取引の契約増加により「賃貸資産の純増減額（△は増加）」が△69億94百万円になったこと、「仕入債務の増減額（△は減少）」が△10億98百万円になったこと、「法人税等の支払額」が△19億21百万円になったこと、「法人税等の還付額」が6億69百万円になったこと、自動車税等の納付による前払費用の増加等により「その他」が△16億66百万円になったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△9億60百万円（前年同期は△11億75百万円）となりました。これは主に、「有形及び無形固定資産の取得による支出」が△8億76百万円になったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、52億39百万円（前年同期は18億51百万円）となりました。これは主に、「借入れによる収入」186億円が、「借入金の返済による支出」△111億13百万円、「コマーシャル・ペーパーの純増減額（△は減少）」△15億円、「社債の償還による支出」△1億30百万円及び「配当金の支払額」△6億1百万円を上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、現時点では、2023年8月1日に公表いたしました業績予想に変更はございません。なお、引き続き今後の業績動向を踏まえ精査しており、修正の必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,154 | 15,414 |
| 受取手形及び売掛金 | 15,961 | 15,222 |
| 電子記録債権 | 5,308 | 2,016 |
| リース・メンテナンス未収入金 | 2,536 | 2,683 |
| リース投資資産 | 24,389 | 28,411 |
| 商品及び製品 | 8,913 | 9,114 |
| 仕掛品 | 1,000 | 1,184 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,042 | 2,766 |
| 前払費用 | 2,496 | 3,461 |
| その他 | 3,808 | 3,760 |
| 貸倒引当金 | △46 | △10 |
| 流動資産合計 | 76,567 | 84,025 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 貸貸資産 | 140,726 | 142,616 |
| 減価償却累計額 | △80,869 | △83,333 |
| 貸貸資産（純額） | 59,857 | 59,282 |
| 土地 | 10,830 | 10,832 |
| その他 | 29,962 | 30,348 |
| 減価償却累計額 | △16,032 | △16,662 |
| その他（純額） | 13,930 | 13,686 |
| 有形固定資産合計 | 84,618 | 83,801 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 700 | 576 |
| その他 | 732 | 815 |
| 無形固定資産合計 | 1,432 | 1,392 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,672 | 5,383 |
| 長期前払費用 | 1,564 | 1,563 |
| 繰延税金資産 | 1,141 | 1,327 |
| その他 | 1,931 | 1,982 |
| 貸倒引当金 | △81 | △114 |
| 投資その他の資産合計 | 9,228 | 10,143 |
| 固定資産合計 | 95,279 | 95,338 |
| 繰延資産 | 42 | 32 |
| 資産合計 | 171,888 | 179,396 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 13,017 | 11,761 |
| 電子記録債務 | 5,384 | 5,513 |
| 短期借入金 | 4,300 | 11,400 |
| コマーシャル・ペーパー | 3,500 | 2,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 5,260 | 10,260 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 20,571 | 20,837 |
| リース債務 | 7 | 4 |
| 未払法人税等 | 1,606 | 1,623 |
| リース・メンテナンス前受金 | 452 | 468 |
| 賞与引当金 | 867 | 914 |
| 品質保証引当金 | 19 | 17 |
| その他 | 2,362 | 2,137 |
| 流動負債合計 | 57,347 | 66,937 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 11,230 | 6,100 |
| 長期借入金 | 51,568 | 51,688 |
| リース債務 | 3 | 2 |
| 退職給付に係る負債 | 2,034 | 1,976 |
| 役員退職慰労引当金 | 180 | 197 |
| 資産除去債務 | 524 | 534 |
| その他 | 624 | 659 |
| 固定負債合計 | 66,165 | 61,158 |
| 負債合計 | 123,513 | 128,095 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,529 | 2,529 |
| 資本剰余金 | 1,805 | 1,805 |
| 利益剰余金 | 42,956 | 45,479 |
| 自己株式 | △245 | △245 |
| 株主資本合計 | 47,045 | 49,567 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,317 | 1,684 |
| 繰延ヘッジ損益 | △7 | 26 |
| 為替換算調整勘定 | 27 | △0 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △46 | △39 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,292 | 1,670 |
| 新株予約権 | 37 | 62 |
| 純資産合計 | 48,375 | 51,300 |
| 負債純資産合計 | 171,888 | 179,396 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 61,772 | 63,525 |
| 売上原価 | 47,550 | 49,671 |
| 売上総利益 | 14,221 | 13,854 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 役員報酬 | 573 | 613 |
| 給料手当及び賞与 | 3,081 | 3,208 |
| 賞与引当金繰入額 | 797 | 694 |
| 退職給付費用 | 152 | 168 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 15 | 17 |
| 貸倒引当金繰入額 | △1 | △3 |
| 品質保証引当金繰入額 | 1 | △2 |
| のれん償却額 | 123 | 123 |
| その他 | 4,562 | 4,803 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 9,305 | 9,622 |
| 営業利益 | 4,916 | 4,231 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 61 | 67 |
| 仕入割引 | 27 | 23 |
| 為替差益 | 124 | 122 |
| その他 | 78 | 165 |
| 営業外収益合計 | 291 | 378 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 34 | 33 |
| 支払手数料 | 12 | 13 |
| その他 | 23 | 22 |
| 営業外費用合計 | 70 | 69 |
| 経常利益 | 5,138 | 4,540 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 1 |
| 投資有価証券売却益 | — | 0 |
| 特別利益合計 | 0 | 2 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 25 | 34 |
| 投資有価証券売却損 | 0 | — |
| 投資有価証券評価損 | 47 | — |
| 災害による損失 | 38 | 1 |
| 事業整理損 | — | 70 |
| 特別損失合計 | 111 | 106 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,026 | 4,436 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,844 | 1,674 |
| 法人税等調整額 | △44 | △362 |
| 法人税等合計 | 1,799 | 1,312 |
| 四半期純利益 | 3,226 | 3,123 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 3,226 | 3,123 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 3,226 | 3,123 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △54 | 366 |
| 繰延ヘッジ損益 | △0 | 33 |
| 為替換算調整勘定 | 0 | △28 |
| 退職給付に係る調整額 | 1 | 6 |
| その他の包括利益合計 | △52 | 377 |
| 四半期包括利益 | 3,173 | 3,501 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,173 | 3,501 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,026 | 4,436 |
| 減価償却費 | 8,580 | 8,715 |
| のれん償却額 | 123 | 123 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △4 | △3 |
| 受取利息及び受取配当金 | △62 | △69 |
| 支払利息 | 34 | 33 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | 20 | 32 |
| 事業整理損 | — | 70 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 1,715 | 4,034 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △1,563 | △972 |
| リース投資資産の純増減額 (△は増加) | △1,697 | △4,378 |
| 賃貸資産の純増減額 (△は増加) | △6,495 | △6,994 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △1,641 | △1,098 |
| 利息及び配当金の受取額 | 60 | 69 |
| 利息の支払額 | △6 | △13 |
| 法人税等の支払額 | △2,824 | △1,921 |
| 法人税等の還付額 | 1 | 669 |
| その他 | △1,730 | △1,666 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △463 | 1,067 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △1,063 | △876 |
| 有形及び無形固定資産の売却による収入 | 5 | 1 |
| 固定資産の除却による支出 | △10 | △21 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △21 | △172 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 0 | 1 |
| その他 | △86 | 106 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,175 | △960 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | — | 7,100 |
| 短期借入金の返済による支出 | △50 | — |
| コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少) | — | △1,500 |
| 長期借入れによる収入 | 13,300 | 11,500 |
| 長期借入金の返済による支出 | △10,808 | △11,113 |
| 社債の償還による支出 | △130 | △130 |
| リース債務の返済による支出 | △3 | △2 |
| 配当金の支払額 | △550 | △601 |
| その他 | 94 | △13 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,851 | 5,239 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 29 | 13 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 242 | 5,359 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 10,890 | 9,984 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 11,133 | 15,344 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3) |
|-------------------|--------------------|------------|-------------|--------------|------------|--------|-------------|--------|-------------|-----------------------------------|
| | 自動車 リース関連 事業 | ケミカル 事業 | パーキング 事業 | 機械工具 販売事業 | 合成樹脂 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 29,656 | 5,396 | 3,376 | 17,815 | 4,576 | 60,822 | 949 | 61,772 | — | 61,772 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 102 | 320 | — | 71 | 4 | 498 | 0 | 498 | △498 | — |
| 計 | 29,759 | 5,717 | 3,376 | 17,887 | 4,580 | 61,320 | 950 | 62,270 | △498 | 61,772 |
| セグメント利益又は損失(△) | 3,856 | 509 | 462 | 350 | △235 | 4,943 | △37 | 4,906 | 10 | 4,916 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガラス加工製品の製造販売、農産物の生産販売、不動産の賃貸及び管理等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3) |
|-------------------|--------------------|------------|-------------|--------------|------------|--------|-------------|--------|-------------|-----------------------------------|
| | 自動車 リース関連 事業 | ケミカル 事業 | パーキング 事業 | 機械工具 販売事業 | 合成樹脂 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 29,473 | 5,415 | 3,679 | 17,721 | 6,081 | 62,372 | 1,153 | 63,525 | — | 63,525 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 107 | 331 | — | 54 | 5 | 498 | 0 | 498 | △498 | — |
| 計 | 29,581 | 5,747 | 3,679 | 17,776 | 6,086 | 62,870 | 1,154 | 64,024 | △498 | 63,525 |
| セグメント利益又は損失(△) | 2,971 | 487 | 570 | 314 | △138 | 4,205 | 14 | 4,220 | 10 | 4,231 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガラス加工製品の製造販売、農産物の生産販売、不動産の賃貸及び管理等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。